

# 平成29年度全国学力 学習状況調査の結果

平成29年4月18日(火)に6年生を対象に実施した、学力調査の結果(概要)をお知らせします。



## Q. この調査の目的は何ですか？

A. 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各領域における児童の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることです。

<ご注意>本調査により測定できるのは、学力の一部であり、すべての学力がわかるわけではありません。

## Q. この調査はどのような内容ですか？

A. 調査は教科の関する調査と、生活環境や学習環境に関する調査とに、二分されます。そのうち、教科に関する調査は、さらにAの「基礎知識」(身につけておかなければ後の学習に影響を及ぼす内容)と、Bの「活用」(実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容)との調査に分けられます。また生活習慣や学習環境に関する調査では、学習意欲や、学習環境、生活の諸側面に関する調査となっています。



## Q. 緑丘小学校の教科全体の調査結果はどうでしたか？

A. グラフで算数や国語の調査結果を表すと、裏面ようになります。青実線が、緑丘小学校の平均正答率、黒実線が全国の平均正答率、そして赤点線が北海道の平均正答率です。以下、調査の結果やグラフから読み取れる傾向を紹介いたします。

### ■教科について

#### <国語A(基礎知識)>

- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「言語についての知識・理解・技能」に関する問題は、全道を上回りました。また「短答式」の問題は、全道と同じでした。
- ・「話すこと・聞くこと」「話す・聞く能力」の領域での正答率が低く、特に2年生から4年生で学習する「手紙やはがきの書き方」や3年生で学習する「俳句」に関する設問の正答率が低いです。

#### <国語B(活用)>

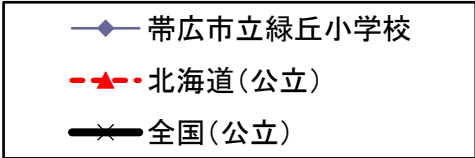
- ・「話すこと・聞くこと」「話す・聞く能力」の正答率が低いです。
- ・いろいろな条件に合わせて書く練習や、図や表から根拠となる部分を読み取る力に課題があります。

#### <算数A(基礎知識)>

- ・「数と計算」は全国を上回りました。また「数量や図形についての技能」に関する設問の正答率は、全道を上回っています。
- ・「商を分数で表す」「図形の面積を求める公式」「資料を正しく分類整理する力」に課題があります。

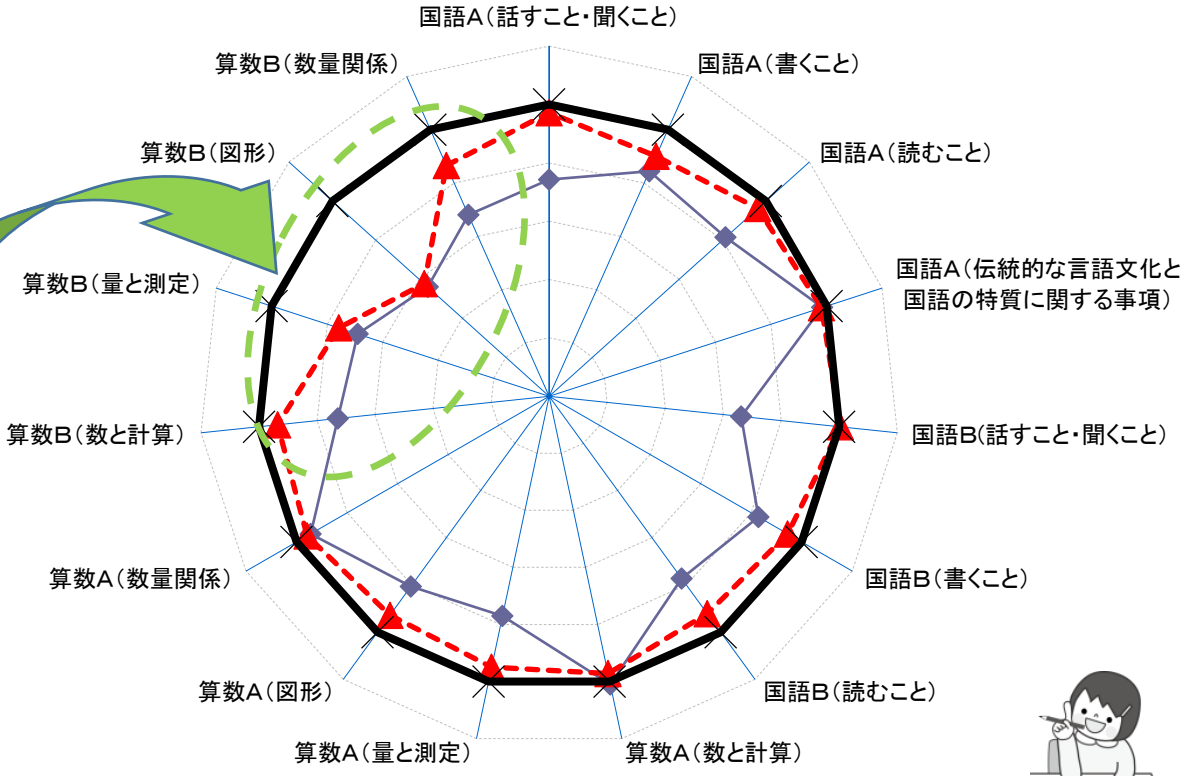
#### <算数B(活用)>

- ・「図形」や「記述式」の正答率が、全国に比べて低いです。
- ・長い文章問題を読んで、文章に書かれていることをイメージする力に課題があります。



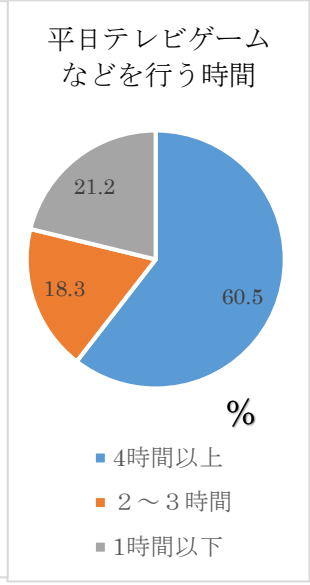
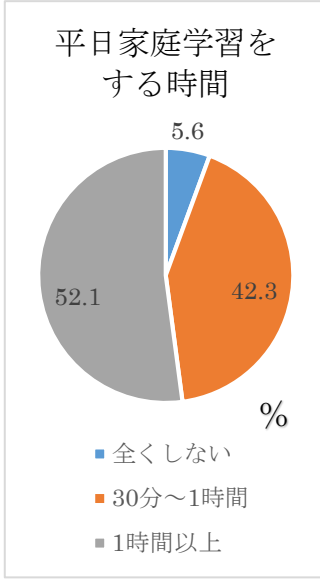
平成 29 年度 全国学力学習状況調査結果  
 (全国平均を 100 とした時の比較)

緑の点線部分が…  
**本校の課題です**



**Q. 緑丘小学校の生活習慣や学習環境に関する調査結果はどうでしたか？**

A. 学習意欲や学習環境の諸側面に関する調査のうち、家庭学習とテレビゲームについての結果を円グラフに表すと、緑丘小学校では、右図のような傾向が見られました。



各ご家庭で、家庭学習のしおりなどを用いた勉強時間を増やす取組や、『十勝家族だんらんノーテレビデー』などで意識して、テレビやゲームの時間を減らす取組をしていただいています。しかしまだ、平日の家庭学習時間やテレビゲームを行う時間の長さ、課題があることが分かります。

**Q. 今後に向けてどうしたらよいですか？**

A. 学力を向上させるためには、学校・家庭・地域が連携し、みんなの力で見守り育てていく必要があります。ご理解とご協力をお願いします。

学校では…校内研修によって効果が表れてきている基礎・基本の更なる定着と、文字数を意識した書く力、自分の考えをまとめる力を高める学習に、重点的に取り組む必要があります。  
 家庭では…家庭学習の時間の確保ならびに、テレビやゲームの時間を減らす取組を行いながら、家庭学習の支援を行う必要があります(「家庭学習のしおり」「十勝家族だんらんノーテレビデー」等の活用)。  
 地域では…夏冬の勉強会や放課後の居場所づくり事業等で、学習をサポートしていく必要があります。